

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.350



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2012年7月18日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

横浜の防災を考えるシンポジウム、大盛況に開催

危険地域の多い横浜、できるところから防災対策を

日本共産党横浜市会議員団は14日、東京大学地震研究所地震予知研究センター長の平田直教授を講師に迎え、党横浜市委員会と共催で「横浜の防災を考えるシンポジ

ウム」を開催しました。

日本共産党の白井まさ子市会議員が司会を行い、私・大貫憲夫団長があいさつし、あらき由美子、古谷やすひこ議員も参加しました。



鶴見区から参加した30代の男性は、「大変参考になった。工務店で働いているので、耐震補強などの仕事に生かしたい」と述べました。

(2面に続く)

「横浜の防災を考えるシンポジウム」の会場は、あられんばかりの参加者で熱気に包まれました。=17日、横浜市西区市従会館4階ホール

Twitter facebook 始めました

30年以内にM7程度の地震が70%の確率で発生

平田氏は、「予想される首都圏の大型地震について」と題して講演。首都圏では、マグニチュード(M)8クラスの地震は200年間隔でおき、その間にM6～7の地震が多発しており、関東大震災(M7.9、1923年)後の約100年間でM7の地震が5回起きていると報告。南関東で発生するM7程度の地震の今後30年以内の発生確率は70%と予測され、「地震予知によって地震に備えれば、地震は避けられないが災害はなくせる」と述べました。

大切なのはいかに被害を防ぐか

次いで、2人のパネリストが報告。神奈川自治体問題研究所の矢後保次事務局長は「横浜市の防災対策の問題点と提案」と題して報告し、市の防災計画は災害発生後の対策ばかりで、いかに被害を防ぐかの視点が欠けていると指摘しました。

災害に弱い横浜市

岩崎ひろし横浜市会議員は市内の防災対策優先エリアとして横浜駅周辺地域、新耐震基準に満たない木造住宅密集地区、盛土造成地や急斜面地などの不安定地盤、石油コンビナートなどの大量危険



あいさつする私・大貫



物取扱施設、横須賀の原子力空母等について、現地の写真を示しながらいかに災害に弱いかを告発。また、党市議団が議会等で防災対策を取り上げ、問題点や改善方法などを示してきたことを報告しました。

我が身を守るすべの訓練を

その後、日本共産党県委員会政策委員会の梅枝裕一副責任者をコーディネーターとして、参加者などから寄せられた質問もふまえ、パネルディスカッション(写真上)を行いました。

岩崎氏は、我が身を守るすべを知るための防災訓練を市の責任で行うべきと述べ、矢後氏は370万の大都市は防災の点からも大きすぎるため小学校区規模の身近な自治組織で防災対策の協議をすべきだと述べました。平田氏は、「地震の発生時期は特定できないが、みなさんが生きている間に必ず地震はおきると思って、今日できるところから防災対策をしてほしい」と述べました。

シリーズ『あおば子育て事情』(114)

モデル弁当試食

江口 寛

日本共産党市議の荒木さん(南区)と古谷さん(鶴見区)が、横浜市がモデル実施している宅配弁当方式の中学校「昼食」(鶴見区矢向中学校)の視察&試食を行った、というブログを目にしました。

この学校の仕組みは、弁当が朝9時に学校に到着し、ボランティアの方が、弁当の入った加熱カートに電源を入れ、お昼には温まった「デラックス弁当」か、温めない「レディース&ヘルシー弁当」を生徒に渡す。食後、弁当箱を返す際に翌日の注文をする。

「デラックス弁当」(400円)の試食をした古谷さんは、「結構なボリュームで、お腹いっぱいになりましたが、



何か足りない。よく見ると、圧倒的に野菜が少ない。これは、弁当箱全体を温める

カートに入れてしまうためだろう」と。

カレーと野菜サラダの「ヘルシー弁当」(350円)の試食をした



荒木さんは、「味はよかったです。こちらは温めてありませんが、特にそのことによる影響は感じませんでした。」と、コメントしています。

市教委は「6校で3週間の試行の後、意見や感想を受けて、今後検討する」とのことですが、この程度のことしか考えてないのか、ちょっと情けなくなりました。

平野康之さんのライブ

17日の代々木公園「さよなら原発集会」の帰り、神奈川区六角橋にあるライブハウス「ラ・フェスタ」で行われた平野さんのライブに行きました。

平野さんには、後援会の集まりや演説会でトランペットを吹いてもらってます。ジャズを堪能しました。追っかけになりそうです。





「さよなら原発10万人集会」、すごい熱気でした。青葉区のあざみ野駅11時半集合、会場の代々木公園についたのは午後1時。すでにメイン会場は満杯。それでも会場の中に入り込みました。上の写真はその時に写しました。

ノーベル賞作家の大江健三郎さんや落合恵子さんなどの著名人や、福島や大飯からの参加者の発言がありました。

坂本龍一さんは「福島のとくに沈黙するのは、野蛮だというのが私の信条」と発言。今年5月に90

歳になった瀬戸内寂聴さんは力強い元気な声で「今、原発を止める、政府の方向をかえることになるかは、わかりません。それでも集まらなくてはならない」と決意を述べました。

参加者は17万人という司会者の発表に、会場から「ウォ！」という歓声が上がりました。

新宿西口への神奈川県デモがスタートしたのは夕方5時です。本当にものすごい人たちが集まりました。これからが勝負です。頑張りましょう。



ミジンコの独り言 梅雨明けもまだなのに猛暑が続き、17日に群馬県館林市で39.2℃を記録。体温より暑いわけだ。夏の熱を保存して冬の暖房にするとか、いまは冬の南半球に効率よく運用できないものか。自然エネルギーの有効利用としてきっとどこかで誰かが研究しているに違いない。(M)